

やわらかな春の日差しが学び舎に降り注ぐこのよき日に、ご来賓として佐用町長江見 秀樹 様、PTA会長 竹田 正史 様、同窓会長 谷本 学 様、佐用町教育長 大森 一繁 様、町内4中学校や県立西はりま特別支援学校の校長をはじめとする学校関係者の皆様にご臨席を賜り、兵庫県立佐用高等学校第八十一回入学式が、盛大に挙行できますことに、深く感謝を申し上げます。

ただいま入学を許可しました、九十六名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。私たち教職員はもとより、在校生も皆さんの入学を心から嬉しく思っています。また、皆さんには今日の入学まで支えてもらったご家族、お世話になった中学校の先生などに対する感謝の気持ちを忘れないで欲しいと思います。

さて、本校は明治四十二年（1909年）に設立され、今年で百十七年目を迎えた伝統校です。普通科に加えて、専門学科である農業科学科と家政科の3つの学科があり、農業と家庭の両方の専門学科を持つ県内唯一の高校です。だから、本校でできることはたくさんあります。

本校は、今年からクリエイトハイスクール～新たな学びで新たな価値を創造する高校～を、スローガンに掲げて今大きく変わろうとしています。来年度の入学生からは、専門学科をアグリクリエイト科とライフクリエイト科へ改編して新たな学びに変更しますし、普通科の改革も県教育委員会や佐用町と協議を進めているところです。来年度からの入学生だけでなく、今年入学の皆さんにも、先取りで新たな学びをどんどん提供したいと思っています。

今年度は佐用町から四百万円という多額の支援を受けて、各学科の特色を活かした「学科協働」による学びと、佐用町の自然や多くの施設や中学校との「地域協働」の2つを柱として、探究活動を中心に教育活動を実施したいと思っていますが、こんなに地元から支援を受けている高校は他にはありません。本当にありがたい気持ちでいっぱいです。

さて、蛇は一般に春、夏、秋に1回ずつ年3回脱皮して大きくなると言われます。「脱皮できない蛇は死ぬ」というニーチェの言葉があるように、現状維持では進歩や発展は望めないのが、本校も常に変化して改革を進めていきますので、皆さんも向上心を忘れず、今の自分から一歩でも成長しようと思いつけてください。中学校とは違って、勉強も難しくなり授業の進度も速くなります。教科の課題も多くて、つい入学した目標も見失うこともあるかもしれません。しかし、できるか、できないかということよりも、今の自分から脱皮して、今日より明日、明日より明後日と一歩でも半歩でも向上しようという気持ちが大切です。

本校の校訓は、自主独立、敬愛協力、創意工夫の3つです。これらの校訓のもと、まず1年生では、ふるさとを愛する「郷土愛」と、多様な価値観や専門性を持って新しい価値を作り上げる、共に創ると書く「共創力」を身につけ、2年生では、「挑戦力」と「行動力」、3年生では、「課題解決力」と「コミュニケーション力」と6つの力を身につけて欲しいと思って教育活動を行っていきますので、一緒に頑張りましょう。

中学校の時に勉強が苦手だったとか、自分に自信が持てないなどと思っている人もいるかもしれません。今はそんなことは全く関係ありません。大事なのは、本校に入学して、勉強や部活動など何かに一生懸命に頑張ろうという気持ちがあるかどうかです。気持ちさえあれば、大学進学でも自分の目指す進路でも実現できます。ただし、義務教育ではありませんので、目標を失えば欠席が増えたり、問題行動を起こして、残念ながら退学せざるを得ないことにもなりかねません。本当におめでとうと言えるのは、3年後に無事卒業できるからです。頑張る気持ちを忘れないください。

また、「まけば生え まかねば生えぬ 善し悪しの 人は知らねど種は正直」ということばがあります。種をまかないと芽は出ません。種をまいて水やりをしたり肥料をやたりと世話をすれば芽が出て花が咲いて実がなります。種まきとは人間の行為のことですが、良い種か悪い種かは知らなくても、出てきた芽や花、実を見ればどんな種をまいたかがわかります。

悪い種まきをしたらそれは自分に不幸な結果が必ず返ってきます。良い種をまいても、なかなか良い実を結ばなくて嫌になることがあるかもしれません。しかし、それは、貯金していると思って頑張っていて欲しいと思います。いつか、多額の利子がついた素晴らしい結果が返ってきます。

皆さんは、SNS等が普及し便利な情報化社会において、情報の発信や公開、利用において、他者への権利侵害を起こさない情報モラルを身につけるとともに、ネットの情報が正しいと決めつけずに、多くの情報から何が正しい情報かを読み解いて活用し、そして正しい情報を発信する情報リテラシーを身につけてください。

最後に、保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。お子様がこれからどのように成長していくのか、大きな期待と不安の両方を持っておられることかと思えます。保護者の皆様と連携して、教職員が一丸となって、お子様の成長を温かく支えてまいります。お困りのことがありましたら、いつでもホームルーム担任に相談頂ければ、丁寧に対応させていただきます。

これからの3年間、本校に対するご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

新入生の皆さん一人一人が、自らの目標を大切に、何より楽しい充実した高校生活を送られることを祈念して、式辞といたします。

令和八年四月八日

兵庫県立佐用高等学校長 小倉 裕史